

No.226

2019年
4月号

さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 4月25日(木)まで

★メイン展示

「読書でふりかえる平成30年」

30年続いた平成もあとわずか。今回の展示は「読書でふりかえる平成30年」と題して、

- ・平成のベストセラー
- ・元号と日本の歴史
- ・平成30年にあった出来事

という3つのコーナーを設けました。



●メイン展示図書(抜粋)

「大嘗祭と古代の祭祀」「ゆめのスカイツリー」
「漫画君たちはどう生きるか」「皇室女子」

★サブ展示

「4月13日は喫茶店の日」

4月13日『喫茶店の日』にちなんで、定番メニューのコーヒー&紅茶に関することはもちろん、自分で開業、自宅をカフェ風インテリアになど、喫茶店やカフェに関する本を集めました。

ぜひお越しください。



寄贈ありがとうございます

★図書の寄贈

公益財団法人坂本報効会(理事長 坂本嘉廣氏)から図書を寄贈していただきました。

ありがとうございました。

「宮沢賢治コレクション」から児童向けの「怪談オウマガドキ学園」まで全部で180冊。

新着コーナーや全集コーナーへの配架となります。お楽しみに！



★図書カードの寄贈

国際ソロプチミスト幡多から図書カード3万円分を寄贈していただきました。

ありがとうございました。

購入させていただいた図書は、新着コーナーに展示後、2階の「国際ソロプチミスト幡多文庫」に配架いたします。



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

麦本三步の好きなもの

住野よる 著
幻冬舎

朝寝坊、チーズ蒸しパン、そして本。
好きなものがたくさんあるから、毎日
きっと楽しい。そんな麦本三步は図書館に
勤務する20代女子。

ドキドキ、ワクワクは少ないですが、読
んでいくうちに、共感したり、ほっこりし
たりしてしまう、とってもキュートな三步
のなにげない日常を描いた一冊です。

(尾崎)

(児童)

道路はどのようにつくるのか？

窪田陽一 監修
PHP研究所

学校に行くとき、仕事に行くとき、買い
物に行くとき、どんな交通手段でも必ず通
る場所があります。それは「道路」です。

道路を開通させるためだけでも多くの時
間と労力がかかります。道路をつくるため
に、いろいろな法律や技術の基準がありま
す。

何気なく通っている道路に目を向けてみ
ると新しい発見があるかも？

(岡村)

(一般)

プレゼン・コンシェルジュが教える 社会人一年目の「アピり方」

天野暢子 著
CCCメディアハウス

ビジネスマナーは時代によって変化しつ
つありますが、根本的なモノ・コミュニ
ケーションはあまり変わらないもの。

本書は、社会人としての心構えや身だし
なみなど基礎的な項目はもちろんのこと、
「マナーの一步先の行動」でさりげなく他
と差をつけアピールする技が盛り沢山！プ
ラスアルファの行動で周囲の見方がガラッ
と変わるかもしれませんよ。

(檜田)

(児童)

いまのわたしにできること

リサ・パップ 作
WAVE出版

ようやくお母さんの許しを得て、図書館
に子犬をもらいに行ったマディ。その時、
いちばん大事なことは「ずっと、だいすき
でいること」と教えてもらいます。と同時
に“どうぶつのシェルター”の存在を知
り、新しい家族を待つ小さな命のために、
自分に何ができるのかを考え、ある催しを
企画するのですが…。

動物を飼うことの責任と捨てられた小さ
な命のために自分に何ができるのかを考え
る絵本、ぜひ親子で読んでみてください。

(山口)

「フォーカス」

松沢まり子

3月のある日曜日の午後、家の前の道を歩いていると少し前を男性と男の子が歩いていた。たぶん親子だろう。右手にグレーのスウェットを着た若い父親が歩いていて左手に彼の手のあたりまでの背の子どもさん。男の子もグレーのTシャツっぽいものを着ている。

広っぱに咲くダイコンの花々に白いモンシロチョウが舞っていて子どもはそれを指さして父親に何か話しかけている。父親は道路側を、手に三輪車を持っている。近くの公園に乗りきたのかもしれない。春のやわらかな日差しの降りそそぐ中をゆっくりと歩いている親と子。

2人は何か言葉で言い表せないような幸せに包まれているようでわたしもとても幸せをいただいた。嬉しくなって頭上を眺めると青い空を背景にしてツバメがヒューっと飛んでいて、その上をトンビが羽を広げ飛びながら鳴いていた。

幸せというのはどういうことだろうと聞かれたらわたしをとりまいた「空気」のようなものだと言えるだろう。というより「今」が幸せなのかもしれない。何だか前にも書いたことがあるような気がする。不平不満の中で生きているわたしだが、この日曜日の光景を見ることができて幸せを感じた。



実はこの原稿を書き始めたのは3月の下旬で土佐くろしお鉄道やJR西日本の電車の中で書くことが多い。今も高知市へ向かう土讃線の中で書いている。車窓からは山の中にぼつぼつと淡い花びらの木々が見える。桜だ。こうして見ると本当にたくさんの桜が植えられてあるんだな、と思う。若い木も古い木も同じ時期に花を咲かせ、わたしたちは愛でる。咲いている最中も散り際も美しい桜。

はな（桜）のもとにて春しなん、と詠ったのは西行だが、ある叔父はまさにそのとおりになった。叔父は大阪で暮らしていたので大阪でお葬式があり、わたしは大阪に向かう電車の中でちっとも進まない原稿を書きながら車窓からまだ肌寒い空気の中に咲いている桜をぼんやり眺めた。こうして見ると桜はいろんなところに咲いている。橋のたもと、畑の中、学校、川沿い、人家のそば、駅の周り、四国山地の奥深い山の中あたり。ひとの目の触れないような場所でもきっとひっそりと咲いているのだろう。春になれば。そして人知れず散ってゆくだろう。

お経の中に和歌を取り入れていたのを初めて聞いたのはその叔父のお葬式だった。願わくは花のもとにて春死なん如月の望月の頃……。え？西行？という感じで。お葬式に来ていたもう一人の叔父も初めて聞いたと話していた。

そういえば戒名も春の文字が入ってあった。いままさに叔父は春の中にいるんだろうな。魂は宿毛に帰ることもあるだろうか。いや、ひとり残した叔母を心配してそばにいるかもしれない。松田川沿いの土手を馬で走ったことがあると話してくれたこともあったっけ。馬?!わたしは聞き返した。昔は馬も牛もぎょうさんおったんよ、と叔父。ちょっとだけ宿毛に帰って土手や中央辺りを懐かしんで歩いているかもしれない。咸陽島辺りも。叔父は88歳だった。



どこにフォーカスするかは自分だけが知っている。あの春の日曜日の親子をとりまく空気。今年もツバメたちが仕事場に帰ってきた。何代目かもうわからないくらい長い間ツバメのマンションのような仕事場になっている(笑)。わたしはそういう光景に幸せを感じる。

山々はそろそろ緑に染まり、山の上のほうの桜は葉桜になっているのを見ることやれんげ畑を見たり、すみれを足のそばに見ることなど。

今は春の雨の音が聞こえる。雨ごとに暖かくなり、やがて夏になり、秋に冬に季節は巡っていく。人は生まれ生きて死んでいく。すごいな、と思う。花も地上で生まれ枯れていく。人は地球から生まれ、地球は48億年前に生まれ、海から酸素ができ植物は酸素と二酸化炭素を排出し…混乱してきた。春の思いは混乱しかない。寒さと温かさの交わる季節。4月は残酷な月、と書いた詩人の詩を読みたくなった。



「宿毛の春」 著者撮影

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|---------------------------|---------------|
| 0 | 「子どもも大人も絵本で育つ」 | 湯澤美紀 |
| 1 | 「自分を疑える」 | 加藤えみ子 |
| 2 | 「戦国古文書入門」 | 渡邊大門 |
| 3 | 「最新ビジネスマナーと今さら聞けない仕事の超基本」 | 宮本ゆみ子 |
| 4 | 「10代脳の鍛え方」 | ジェス・P. シャットキン |
| 5 | 「すべてがわかる! ロードバイクメンテナンス入門」 | 鎬木裕 |
| 6 | 「コーヒーショップをつくる」 | 渡部和泉 |
| 7 | 「樹木希林120の遺言」 | 樹木希林 |
| 8 | 「平成新語 出どこはどこ?」 | 中村三郎 |
| 9 | 「花嫁は迷路をめぐる」 | 赤川次郎 |
| 9 | 「カムパネルラ版 銀河鉄道の夜」 | 長野まゆみ |
| 9 | 「小説映画ドラえもののび太の月面探査記」 | 藤子・F・不二雄 |
| 9 | 「ショートショートドロップス」 | 新井素子 |
| 9 | 「くらやみガールズトーク」 | 朱野帰子 |
| 9 | 「機捜235」 | 今野敏 |
| 9 | 「お茶壺道中」 | 梶よう子 |
| 9 | 「夢の迷い路」 | 西澤保彦 |
| 9 | 「夜の塩」 | 山口恵以子 |
| 9 | 「尼子姫十勇士」 | 諸田玲子 |
| 9 | 「こうして誰もいなくなった」 | 有栖川有栖 |
| 9 | 「真実の航跡」 | 伊東潤 |
| 9 | 「飛族」 | 村田喜代子 |
| 9 | 「麦本三步の好きなもの」 | 住野よる |

※左側の数字は図書の分類を表しています。

0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|--|------------|
| 「道路はどのようにつくられるのか?」 | 窪田陽一 |
| 「受取人、不在につき」 | 赤川次郎 |
| 「恐竜たちの世界」 | しみずとしふみ |
| 「算数親分捕物帳」 | 瀧ヶ平悠史 |
| 「いつか、太陽の船」 | 村中李衣 |
| 「嵐をしずめたネコの歌」 | アントニア・バーバー |
| 「大迫力!世界の天使と悪魔大百科」 | 山北篤 |
| 「ありちゃんあいうえお -かこさとしの71音-」 | かこさとし |
| 「はじめてずかんどうぶつな〜に? - 英語つき210以上の写真とことば -」 | 永岡書店編集部 |
| 「カイとティムよるのぼうけん」 | 石井睦美 |
| 「命のダイヤル -泣ける物語- 」</td <td>赤川次郎</td> | 赤川次郎 |

絵本



- | | |
|---|-------------|
| 「ぬにゅ〜ぼんぼん」 | ちかつたけお |
| 「津波の日の絆 -地球深部探査船『ちきゅう』で過ごした子どもたち- 」</td <td>小俣珠乃</td> | 小俣珠乃 |
| 「ちくちくとふわふわ」 | なないろ |
| 「ハッピー・ハグ」 | オーイン・マクラフリン |
| 「はいたち」 | からさわようすけ |
| 「てんしき -らくごえほん- 」</td <td>川端誠</td> | 川端誠 |
| 「くもとそらのえほん」 | 五十嵐美和子 |
| 「おさいふのかみさま」 | 荻田澄子 |
| 「いまのわたしにできること」 | リサ・パップ |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。

図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp